

西洋史

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
西洋史概論	イギリス史概論	2	有光 秀行	3	水曜3限
西洋史概論	歴史的思惟の系譜	2	浅岡 善治	4	水曜3限
西洋史基礎講読	英語文献精読	2	有光 秀行	3	火曜4限
西洋史基礎講読	西洋史研究の基礎	2	浅岡 善治	3	水曜2限
西洋史基礎講読	英語文献精読	2	有光 秀行	4	火曜4限
西洋史基礎講読	西洋史研究の基礎	2	浅岡 善治	4	水曜2限
西洋史各論	イングランド人の王ウィリアム1世とその世界	2	有光 秀行	3	月曜3限
西洋史各論	ニコライ・ブハーリンとロシア革命	2	浅岡 善治	4	金曜3限
西洋史演習	中世ヨーロッパ史研究	2	有光 秀行	5	月曜4限
西洋史演習	近代革命の歴史的再検討	2	浅岡 善治	5	木曜2限
西洋史演習	中世ヨーロッパ史研究	2	有光 秀行	6	月曜4限
西洋史演習	近代革命の歴史的再検討	2	浅岡 善治	6	木曜2限

科目名：西洋史概論

曜日・講時：水曜 3 限

Semester : 3 単位数 : 2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB33304, 科目ナンバリング：LHM-HIS204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：イギリス史概論

2. 授業の目的と概要：近藤和彦『イギリス史 10 講』、岩波新書（新赤版）1464 をテキストにして、21 世紀にいたるまでのイギリスの歴史を通観します。

3. 学習の到達目標：21 世紀にいたるまでのイギリス史の流れと、その主要なポイントを理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業全体の説明、テキスト第 1 講
2. テキスト第 2 講
3. テキスト第 2 講 (2)
4. テキスト第 3 講
5. テキスト第 3 講 (2)
6. テキスト第 4 講
7. テキスト第 4 講 (2)
8. テキスト第 5 講
9. テキスト第 5 講 (2)
10. テキスト第 6 講
11. テキスト第 7 講
12. テキスト第 8 講
13. テキスト第 9 講
14. テキスト第 10 講
15. 授業のまとめ

5. 成績評価方法：レポート

6. 教科書および参考書：近藤和彦『イギリス史 10 講』、岩波新書（新赤版）1464、2013 年。参考書は教室で適宜指示する。

7. 授業時間外学習：毎回必ず授業前にテキストを下読みして予習し、また必ずテキストおよびノートを読み返して復習すること。さらに関連文献を読んで理解を深めることを強く要望します。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史概論

曜日・講時：水曜 3 限

semester：4 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB43303, 科目ナンバリング：LHM-HIS204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：歴史的思惟の系譜

2・授業の目的と概要：人間が過去を「歴史的に」理解しようとする試みは、しばしば「現在と過去との対話」と形容される。実際、これまでの優れた歴史研究の成果は、同時代を強く意識した「歴史家 (historian)」たちによって、彼らを取り巻く現実との鋭い緊張関係の中から生み出されてきた。本講義では、ヨーロッパを中心に、古代から現代までの「歴史的思考」の系譜をその背景と共にたどり、歴史研究の意味とその現代的課題について考える。

- 3. 学習の到達目標：**
- ・ 西洋における歴史的思惟の展開過程を、その背景と共に理解すること
 - ・ 過去の具体的事象を扱う上での「歴史的」視座と思考様式を獲得すること

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. はじめに —— 歴史とは何か
2. 「歴史叙述」の誕生
3. ギリシアからローマへ
4. キリスト教と歴史過程
5. 紀年法と時代区分
6. 「近世」の歴史思想
7. 啓蒙主義とロマン主義
8. ヘーゲルの歴史哲学
9. 「近代歴史学」の成立
10. マルクスと唯物史観
11. 歴史学とアジアの「近代」(1)
12. 歴史学とアジアの「近代」(2)
13. 20 世紀における歴史学の「危機」(1)
14. 20 世紀における歴史学の「危機」(2)
15. 総括と展望——歴史的思惟と現代

5. 成績評価方法：期末試験による (100%)。

6. 教科書および参考書：特定の教科書は使用しない。資史料等はプリント形態で配布する。

総合的なものとして：

- ・ E・H・カー『歴史とは何か』清水幾太郎訳、岩波新書、1962 年
 - ・ 溪内謙『現代史を学ぶ』岩波新書、1995 年
 - ・ 小田中直樹『歴史学ってなんだ?』PHP 新書、2004 年
 - ・ ジョン・H・アーノルド『1冊でわかる 歴史』新広記訳、岩波書店、2003 年。
- ほか、個別的なものに関しては講義の進行にあわせて随時紹介していく。”

7. 授業時間外学習：「概論」ゆえ内容は平易を旨とするが、受講者が何らかの事由により本来備えるべき基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主体的努力が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史基礎講読

曜日・講時：火曜 4 限

Semester：3 単位数：2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB32404, 科目ナンバリング：LHM-HIS210J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：英語文献精読

2. 授業の目的と概要：専門書・論文を読む英文読解力を身につけると同時に、西洋史研究についても理解を深めることを目指します。

3. 学習の到達目標：英語で書かれた専門的論考の読解力を身につけ、西洋史研究への理解を深める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

中世ブリテン諸島史を論ずるテキストを読む予定です。第一回目は打ち合わせ。以後は毎回訳読と解説です。

5. 成績評価方法：授業参加状況（70%）と学期末翻訳レポート（30%。所定の授業期間に読めなかったテキストの一部を学期末にレポートとして提出してもらい、獲得された読解力について確認します。）

6. 教科書および参考書：読むテキストのコピーを配布、もしくは URL を共有します。

7. 授業時間外学習：予習し、わからなかった箇所、読み間違えた箇所を中心に、復習を必ずおこなうこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史基礎講読

曜日・講時：水曜 2 限

semester：3 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB33204, 科目ナンバリング：LHM-HIS210J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：西洋史研究の基礎
2. 授業の目的と概要：演習形式による文献講読を中心として、西洋史研究に関する入門的指導を行う。
3. 学習の到達目標：専門的歴史研究に向けての基本的素養の獲得。
4. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 ガイダンス：授業の趣旨と進め方について
 2. 歴史学とはいかなる学問か
 3. 歴史研究と史料(1)
 4. 歴史研究と史料(2)
 5. 課題発表(1)a
 6. 課題発表(1)b
 7. 課題発表(1)c
 8. 課題発表(1)d
 9. 専門論文の読み方(1)
 10. 専門論文の読み方(2)
 11. 課題発表(2)a
 12. 課題発表(2)b
 13. 課題発表(2)c
 14. 課題発表(2)d
 15. 中間的総括
5. 成績評価方法：出席：30%・その他（受講態度、課題の達成度など）：70%
6. 教科書および参考書：資料等は、基本的にプリント形態で配布する。参考文献等は、授業の進行に合わせて随時紹介する。
7. 授業時間外学習：ほぼ毎週課題が出るので、それらをきちんとこなすこと。何らかの事由により基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主体的な努力が求められる。
8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
9. その他：

科目名：西洋史基礎講読

曜日・講時：火曜 4 限

Semester：4 単位数：2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB42406, 科目ナンバリング：LHM-HIS210J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：英語文献精読

2. 授業の目的と概要：専門書・論文を読む英文読解力を身につけると同時に、西洋史研究についても理解を深めることを目指します。

3. 学習の到達目標：英語で書かれた専門的論考の読解力を身につけ、西洋史研究への理解を深める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

中世ブリテン諸島史を論ずるテキストを読む予定です。第一回目は打ち合わせ。以後は毎回訳読と解説です。

5. 成績評価方法：授業参加状況（70%）と学期末翻訳レポート（30%。所定の授業期間に読めなかったテキストの一部を学期末にレポートとして提出してもらい、獲得された読解力について確認します。）

6. 教科書および参考書：読むテキストのコピーを配布、もしくは URL を共有します。

7. 授業時間外学習：予習し、わからなかった箇所、読み間違えた箇所を中心に、復習を必ずおこなうこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史基礎講読

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：4 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB43202, 科目ナンバリング：LHM-HIS210J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：西洋史研究の基礎

2. 授業の目的と概要：演習形式による文献講読を中心として、西洋史研究に関する入門的指導を行う。使用言語/テキストは主に日本語とする。

3. 学習の到達目標：専門的歴史研究に向けての基本的素養の獲得。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 夏季課題発表(1)
2. 夏季課題発表(2)
3. 資料・文献の探し方
4. 課題発表(1)a
5. 課題発表(1)b
6. 課題発表(1)c
7. 課題発表(1)d
8. 学术论文の作法(1)
9. 学术论文の作法(2)
10. 課題発表(2)a
11. 課題発表(2)b
12. 課題発表(2)c
13. 課題発表(2)d
14. 総括に向けて
15. 総括

5. 成績評価方法：出席：30%・その他（受講態度、課題の達成度など）：70%

6. 教科書および参考書：資料等は基本的にプリント形態で配布する。参考文献等は授業の進行に合わせて随時紹介する。

7. 授業時間外学習：ほぼ毎週課題が出るので、それらをきちんとこなすこと。何らかの事由により基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主体的な努力が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

後期の講読は、前期からの継続的受講を前提としている。

科目名：西洋史各論

曜日・講時：月曜 3 限

セメスター：3 **単位数：**2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB31303, **科目ナンバリング：**LHM-HIS305J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：イングランド人の王ウィリアム 1 世とその世界

2. 授業の目的と概要：この授業は、イングランド人の王ウィリアム 1 世（ノルマン人の公ギヨーム 2 世）の生涯をたどりながら、ブリテン諸島と大陸ヨーロッパの関係の変化など、11 世紀西北ヨーロッパ世界を理解することを目的とします。

3. 学習の到達目標：11 世紀西北ヨーロッパ世界におこった大きな変化を理解できるようになることと、歴史の中の人物について理解できるようになることを、目標とします。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 誕生から 1040 年代前半まで (1)
3. 同上 (2)
4. 同上 (3)
5. 1066 年まで (1)
6. 同上 (2)
7. 1066 年 (1)
8. 同上 (2)
9. 同上 (3)
10. 1070 年代前半まで (1)
11. 同上 (2)
12. 同上 (3)
13. 亡くなるまで (1)
14. 同上 (2)
15. まとめ

5. 成績評価方法：レポート

6. 教科書および参考書：教室で指示します。

7. 授業時間外学習：予習・復習を必ずおこなうこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史各論

曜日・講時：金曜3限

semester：4 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB45305, **科目ナンバリング：**LHM-HIS305J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：ニコライ・ブハーリンとロシア革命

2. 授業の目的と概要：ロシア革命初期の指導者ニコライ・イヴァノヴィチ・ブハーリン（1888-1938）の思想と行動を中心に、ロシア革命の展開とスターリン体制の成立過程を再検討する。

3. 学習の到達目標：・ロシア革命の一指導者の生涯を切片に、近現代ヨーロッパ史の展開過程を把握する。
・ヨーロッパ近現代史の知見を元に、諸事象を「歴史的に」捉える思考様式を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. はじめに——本講義の趣旨と進め方について
2. 「モスクワっ子」
3. 亡命と世界戦争
4. 「十月」
5. 左翼共産主義
6. ボリシェヴィズムの理論家
7. 新経済政策
8. 社会主義への道
9. 党内闘争
10. 後期ネップの危機
11. 「右翼偏向」
12. 「上からの革命」
13. 大テロルと見世物裁判
14. 歴史の中のブハーリニズム
15. 総括と展望

5. 成績評価方法：期末試験による（100%）。

6. 教科書および参考書：S・F・コーエン『ブハーリンとボリシェヴィキ革命——政治的伝記、1888-1938年』塩川伸明訳、未来社、1979年。

その他、順次授業内で紹介していく。

7. 授業時間外学習：講義内容は平易を旨とするが、受講者が何らかの理由で本来備えるべき基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主體的な努力が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史演習

曜日・講時：月曜 4 限

semester：5 単位数：2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB51407, 科目ナンバリング：LHM-HIS312J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中世ヨーロッパ史研究

2. 授業の目的と概要：中世ヨーロッパ史の文献の読解力を養うとともに、研究の最前線に関する知見を深めることが目的です。教室における文献の読解・検討と、レポート作成を、2つの柱とします。

3. 学習の到達目標：さまざまな文献の読解力を獲得するとともに、学界での研究の諸動向を理解し、卒業論文・卒業研究作成にそなえる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

通常の授業時間は、英語のテキストを、分担箇所を決めて読みます。また学期末には、西洋史に関し、各人が興味を持つテーマを自ら設定して、それに関連する論文を読みまとめたレポートを提出してもらいます。作成上の指導は随時おこないます。

5. 成績評価方法：授業参加状況（50%）とレポート（50%）。

6. 教科書および参考書：中世イングランドを論じる論文を読む予定です。初回に具体的に説明します。

7. 授業時間外学習：毎回読むテキストの予習・復習をおこなうこと。およびレポート作成のための文献探索・読解を随時おこなうこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史演習

曜日・講時：木曜 2 限

semester：5 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB54209, 科目ナンバリング：LHM-HIS312J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：近代革命の歴史的再検討

2. 授業の目的と概要：演習形式による英語文献講読を中心として、西洋史研究に関する基本的指導を行う。

3. 学習の到達目標：専門的歴史研究に向けての基本的素養の獲得、および英語文献の正確な読解。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス：授業の趣旨と進め方について
2. 試訳の検討と討論 (1)a
3. 試訳の検討と討論 (1)b
4. 試訳の検討と討論 (1)c
5. 試訳の検討と討論 (1)d
6. 試訳の検討と討論 (1)e
7. 小括 (1)
8. 試訳の検討と討論 (2)a
9. 試訳の検討と討論 (2)b
10. 試訳の検討と討論 (2)c
11. 試訳の検討と討論 (2)d
12. 試訳の検討と討論 (2)e
13. 小括 (2)
14. 課題発表
15. 総括

5. 成績評価方法：出席：30%・その他(受講態度、課題の達成度など)：70%

6. 教科書および参考書：開講後発表。

7. 授業時間外学習：ほぼ毎週課題が出るので、それらをきちんとこなすこと。また何らかの事由により基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主體的な努力が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史演習

曜日・講時：月曜 4 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：有光 秀行

コード：LB61407, 科目ナンバリング：LHM-HIS312J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中世ヨーロッパ史研究

2・授業の目的と概要：中世ヨーロッパ史の文献の読解力を養うとともに、研究の最前線に関する知見を深めることが目的です。教室における文献の読解・検討と、レポート作成を、2つの柱とします。

3. 学習の到達目標：さまざまな文献の読解力を獲得するとともに、学界での研究の諸動向を理解し、卒業論文・卒業研究作成にそなえる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

通常の授業時間は、英語のテキストを、分担箇所を決めて読みます。また学期末には、西洋史に関し、各人が興味を持つテーマを自ら設定して、それに関連する論文を読みまとめたレポートを提出してもらいます。作成上の指導は随時おこないます。

5. 成績評価方法：授業参加状況（50%）とレポート（50%）。

6. 教科書および参考書：中世イングランドを論じる論文を読む予定です。初回に具体的に説明します。

7. 授業時間外学習：毎回読むテキストの予習・復習をおこなうこと。およびレポート作成のための文献探索・読解を随時おこなうこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：西洋史演習

曜日・講時：木曜 2 限

semester：6 単位数：2.00 単位

担当教員：浅岡 善治

コード：LB64207, 科目ナンバリング：LHM-HIS312J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：近代革命の歴史的再検討

2. 授業の目的と概要：演習形式による英語文献講読を中心として、西洋史研究に関する基本的指導を行う。

3. 学習の到達目標：専門的歴史研究に向けての基本的素養の獲得、および英語文献の正確な読解。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス：授業の趣旨と進め方について
2. 試訳の検討と討論 (1)a
3. 試訳の検討と討論 (1)b
4. 試訳の検討と討論 (1)c
5. 試訳の検討と討論 (1)d
6. 試訳の検討と討論 (1)e
7. 小括 (1)
8. 試訳の検討と討論 (2)a
9. 試訳の検討と討論 (2)b
10. 試訳の検討と討論 (2)c
11. 試訳の検討と討論 (2)d
12. 試訳の検討と討論 (2)e
13. 小括 (2)
14. 課題発表
15. 総括

5. 成績評価方法：出席：30%・その他(受講態度、課題の達成度など)：70%

6. 教科書および参考書：開講後発表。

7. 授業時間外学習：ほぼ毎週課題が出るので、それらをきちんとこなすこと。また何らかの事由により基本的知識や素養を欠く場合は、各自の主体的な努力が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

後期の演習は、前期からの継続的受講を前提としている。